



横浜市立田奈小学校 学校だより

平成29年10月31日

11月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

校長 二瓶 光代
Tel 045-981-0009

ふるさと自慢

校長 二瓶 光代

「田奈小のお子さんの作文が、新聞に載っていました。よく書けていましたよ。」という話を地域の方から聞き、さっそく調べてみました。その作文には、自然いっぱいの田奈のまちや田奈小の特色ある教育活動のことが、限られた文字数の中で巧みに表現されていました。田んぼ近くの小さな丘から見える景色のことも書かれていました。

私は、田奈小に着任する前に、いつまでも眺めていたい景色と出会いました。生き生きとした緑の田んぼ、その横に流れる川、緩やかなカーブの道路を走る車、遠くには、電車……。小高い丘から見た景色は、今でも目に焼き付いています。それは長津田三丁目の丘から見た田奈のまちでした。当時、「こんな素晴らしい風景に囲まれて生活している子ども達もいるのだなあ。」と考えながら眺めていました。その時の丘は、まちがいなくこの作文に出てくる丘でした。作文を書いた子どもと、時間を超えてあの風景の美しさを共感できたことをうれしく思いました。新聞を読んで実際にこの風景を見に来られ、作文を書いた子ども宛てに手紙を書いてくださった方がいます。美しさの共感が、交流を生み出してくれました。

生活科には、「地域のよさに気付き、愛着を持つ」という目標、社会科3、4年には、「地域社会に対する誇りと愛情を育てる」という目標があります。総合的な学習の時間については、「地域の特色に応じた課題について学習すること」が配慮事項の一つとなっています。地域について学ぶことは、子ども達にとって必要なことであり、地域のよさは、子ども達に気付かせたいことなのです。田奈小には、豊かな自然という地域性を生かしたたくさんの学習活動があり、子ども達は地域のよさを感じ取っているのだと思います。



その作文の翌週、同じ新聞にまた田奈小の子どもが書いた作文が掲載されました。テーマは、やはり「ふるさと自慢」でした。

地域の方から種瓜をいただいて育てているハヤトウリ。子ども達が、小さな実ができているのを見つけて教えに来てくれました。